

ワークショップ意見・協議内容

全2回（21グループ、延べ93名）のワークショップの意見を参考に比較・検証を繰り返し関係者の皆様と協議を進めました。

■検討に当たっての重点項目

安全性の確保

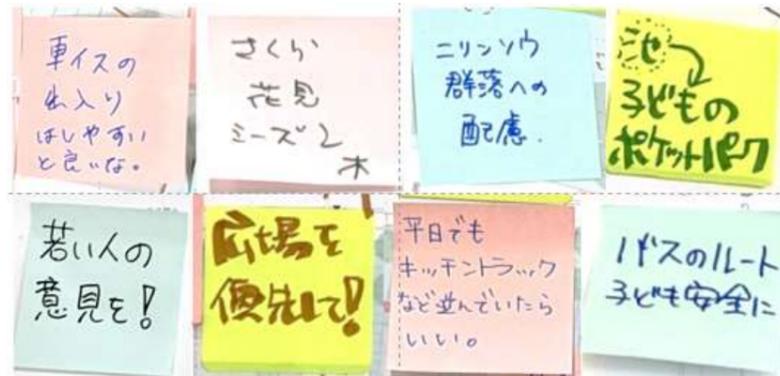
まちなみ 周囲との調和

施設アクセス性 バリアフリー計画

コスト管理 施工性・維持管理

■外部空間について

学生たちが健全に集う場所にしたい。（コンビニに集っている）外に遊べるスペースが欲しい。
 車椅子の出入りはしやすいといいな。
 車いす駐車場の配置をよく考えてほしい。
 入口をわかりやすくしてほしい。
 外に開かれたイベントスペースがあるのが良い。
 テナントに近い駐車場があればうれしい。
 伐採する樹木を活用してほしい。
 子どもと大人の交流をたくさんしたい。
 休日やイベント時などにテナントが休みだとにぎわいが寂しくならないか。
 温泉+バスや食事付きなどのチケットがあると通いたくなる。
 若い人の意見を聞いてほしい。
 冬の除雪や入り口周りに注意して。
 商店街との連携したイベント（SALE!）をしてほしい。
 これから複合施設と周囲の共生をもっと考えてほしい。
 コラレ広場を中心に歩きたい。
 広場にキッチンカーや移動販売車が来てくれたら嬉しい。
 バスのルートは子どもの安全を第一に。
 池にあるの植生（ニリンソウや樹木）を残してほしい。
 にぎわいポーチの前を芝生（人工）広場にして、子供が遊べる場所に。
 広場には日よけになる木があるといい。
 駐車場よりも広場空間を優先してほしい。
 冬には子どもとそり滑りしたい。
 幼児を連れて親子が裸足で遊ばせ、お弁当も食べられるような場所が欲しい。
 周囲をぐるっと歩けると冬のウォーキングコースになるのでは桜を植えて花見をしたい。



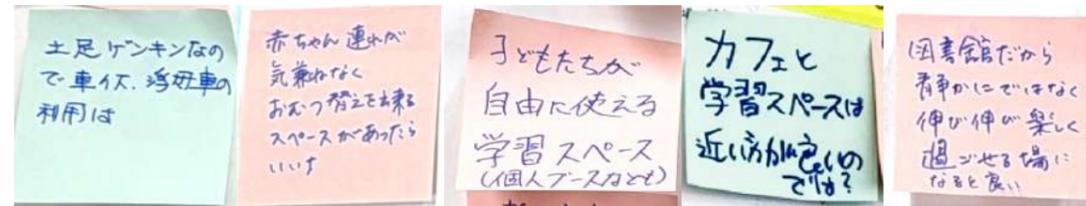
■内部空間について

①施設全体に関して

自分たちの居場所を見つけたい
 車いすやベビーカーでも入りやすい施設に
 全部が靴を脱ぐ場所だと災害時大丈夫か
 授乳室やおむつ替えスペースが欲しい
 スターバックスのようなカフェがほしい
 展示販売があると面白い（本+野菜+食器）
 ミニコンサートなどを披露したい
 トイレに入るところが見えない配慮を
 お風呂上りにお酒も飲みたい
 月間PRコーナー欲しい（健康や食育など）

②図書館に関して

出入りしやすくゆっくりと出来る図書館にほしい
 子どもが喜ぶ秘密基地空間があると楽しい
 大人がくつろげるスペースがほしい
 ボランティア活動を続けやすくしてほしい
 本の日焼けや濡れてしまったの劣化が心配
 タブレット学習やオンライン会議ができる個室ほしい
 本が増えていくので閉架書庫がもっと必要ではないか
 新たに貸出データの利活用を（おすすめや新冊購入）
 これまでの静かな場所だけでなく楽しく過ごしたい



③温泉に関して

広くて温度の違う浴槽が欲しい
 打たせ湯が欲しい
 星を見ながら入りたい
 風呂やサウナに音や映像が欲しい
 弟子屈の温泉を自慢したい
 おしゃれなサウナがあったほうが良い
 オリジナルグッズあるといいのでは
 洗い場が広いと使いやすい
 落ち着く風呂にほしい

④プールに関して

体操できるスペースを確保してほしい
 園児利用も多く適切なサイズ・深さのプールが必要
 園児利用を考えると採暖室は女性側だと利用しやすい
 光が変化するなど楽しめるプールだと行きたくなる
 プールを利用するきっかけが欲しい
 リハビリや歩く運動に使いたい
 3レーンになってスケジュールが立てられるか心配
 水泳教室参加者には大きなロッカーが必要
 更衣室にカーテンで仕切れる場所がほしい



■変更になった主な外部プラン

【四季を通した安全性の確保】

冬季の安全な車両通行（接道位置、車路勾配）
 敷地内の安全な除雪計画（見通しの良い駐車場）

【まちなみとの調和】

周辺街区と複合施設が連携可能な配棟計画
 営林署の歴史を繋ぐ緑地空間の確保

【わかりやすい施設アクセス】

各駐車場や車寄せからの動線計画

【多様な利用に配慮したバリアフリー計画】

施設への安全な動線確保

【造成工事のコストを意識した効率的な配置】

敷地内高低差を有効に活用する施設計画

【今後の設備更新に対応した動線確保】

施設機械設備やバイナリー発電設備への動線
 湯ポンプのメンテナンススペース

■変更になった主な内部プラン

【ゆとりある弟子屈らしい図書館】

湯上りスペース拡大
 開架閉架書架の割合変更（4万冊開架2万冊閉架）

【弟子屈の魅力を伝えられる温浴施設】

温浴拡大、露天風呂、視覚的な演出効果

【安全性と多様な使い方に配慮したプール】

幼児用プールの設置、シラカバテラス設置

【テナントスペース】

区画面積増、共用部増（専用入口・給湯室）

【より多くの人々が気軽に利用できる設備の充実】

トイレスペース・授乳室の充実、動線整理
 個人ブース設置（図書・会議スペース、脱衣室）

【効率的な施設計画】

配棟計画に伴う内部通路部分の増
 各種諸室面積増に伴う機械設備スペースの拡大

■第一回ワークショップ（23.2.16-17）

用途別関連団体（図書館・プール・温浴）
 ・参加者：42名（9テーブル）
 ・意見総数：240
 ・事業企画、施設概要を説明

■第二回ワークショップ（23.3.19-21）

用途別関連団体+全町民一般応募
 ・参加者：51名（12テーブル）
 ・意見総数：285
 ・提案図を基に動線等を説明



ワークショップの開催

各グループ意見の発表

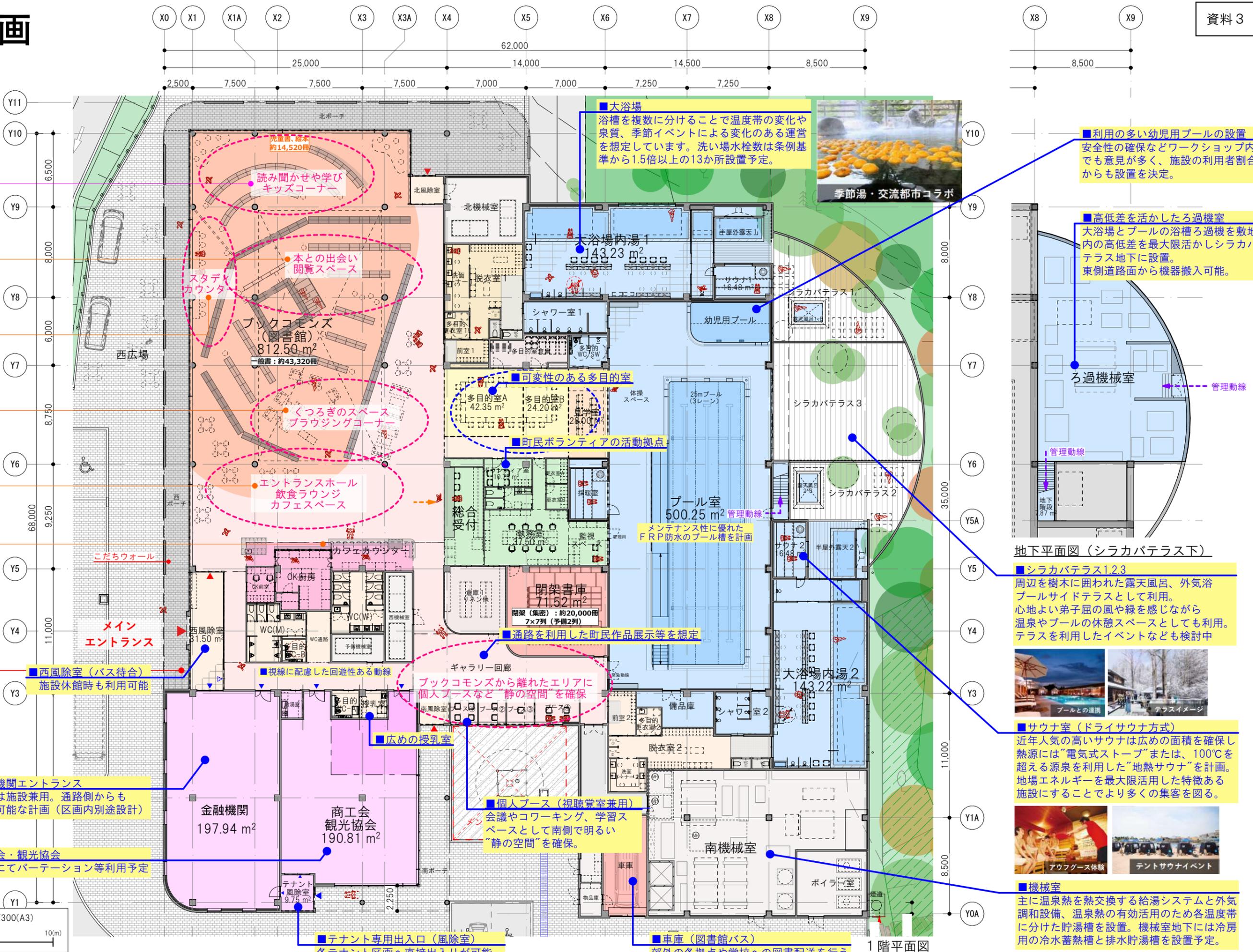
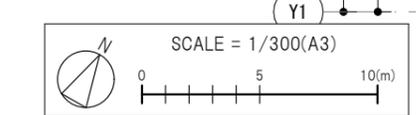
ワークショップ意見

平面計画

- ブック commons**
 - キッズコーナー**
 低書架を配置した3方向に開口を設け自然光の明るい空間を確保。外部からも視認できるエリアで、街並みへのにぎわいも与える。
 - 閲覧スペース**
 高書架がランダムに配置され囲われたスペースには、什器や本棚の様々な仕掛けで気軽に閲覧でき場所となり新たな出会いを誘発。
 - スタディカウンター**
 窓際には学生やデスクワークが可能なカウンターを設置することでまちの新たな拠点として利用される。
 - くつろぎスペース**
 ソファやテーブルが配置され、湯上りも含め会話をしながら読書等を楽しむことができるくつろぎの間として利用される空間。
 - 飲食ラウンジ**
 主にカフェ等の飲食を楽しむ場として利用。エントランス近くで施設全体ににぎわいを与え交流拠点の核として町民に利用されます。
 - 飲食カウンター**
 カフェやシェアキッチンでは館内でも飲食可能なメニューが提供され、読書や勉強ができるブックカフェのように使われる。

- 軒下ポーチ**
 こだちウォールと庇によってできる軒下空間は、緩やかに屋内外を繋ぐ役割と合わせて強い日差しや降雪降雨時の滞留、図書の日焼け防止にも寄与する。

- 金融機関エントランス**
 風除室は施設兼用。通路側からも出入り可能な計画(区画内別途設計)
- 商工会・観光協会**
 区画内にてパーテーション等利用予定



■大浴場
 浴槽を複数に分けることで温度帯の変化や泉質、季節イベントによる変化のある運営を想定しています。洗い場水栓数は条例基準から1.5倍以上の13か所設置予定。

季節湯・交流都市コラボ

■利用の多い幼児用プールの設置
 安全性の確保などワークショップ内でも意見が多く、施設の利用者割合からも設置を決定。

■高低差を活かしたろ過機室
 大浴場とプールの浴槽ろ過機を敷地内の高低差を最大限活かしシラカバテラス地下に設置。東側道路面から機器搬入可能。

地下平面図(シラカバテラス下)

■シラカバテラス1.2.3
 周辺を樹木に囲われた露天風呂、外気浴プールサイドテラスとして利用。心地よい弟子屈の風や緑を感じながら温泉やプールの休憩スペースとしても利用。テラスを利用したイベントなども検討中

■サウナ室(ドライサウナ方式)
 近年人気の高いサウナは広めの面積を確保し熱源には“電気式ストーブ”または、100℃を超える源泉を利用した“地熱サウナ”を計画。地場エネルギーを最大限活用した特徴ある施設にすることでより多くの集客を図る。

プールとの連携 テラスイメージ

■機械室
 主に温泉熱を熱交換する給湯システムと外気調和設備、温泉熱の有効活用のため各温度帯に分けた貯湯槽を設置。機械室地下には冷房用の冷水蓄熱槽と排水貯湯槽を設置予定。

アウフグース体験 テントサウナイベント

■可変性のある多目的室
 多目的室A 42.35 m² 多目的室B 24.20 m² 多目的室C 23.00 m²

■町民ボランティアの活動拠点
 25mプール(3レーン) シラカバテラス3

■プール室 500.25 m²
 メンテナンス性に優れたFRP防水のプール槽を計画

■通路を利用した町民作品展示等を想定
 閉架書庫 711.52 m² 閉架(集密): 約20,000冊 7×7列(予備2列)

ブック commons から離れたエリアに個人ブースなど“静の空間”を確保

■個人ブース(視聴覚室兼用)
 会議やワーキング、学習スペースとして南側で明るい“静の空間”を確保。

■テナント専用出入口(風除室)
 各テナント区画へ直接出入りが可能。

■車庫(図書館バス)
 郊外の各拠点や学校への図書配送を行う

1階平面図